fukuske

2020

CORPORATE PROFILE

心とカラダに『福』を。

～今日の感動を未来の文化へ～

企業理念に込められた想い

真心を込めたものづくりと最上級の感動を提供することで、
お客様、すべてのステークホルダーに『福』をお届けする企業になろう。

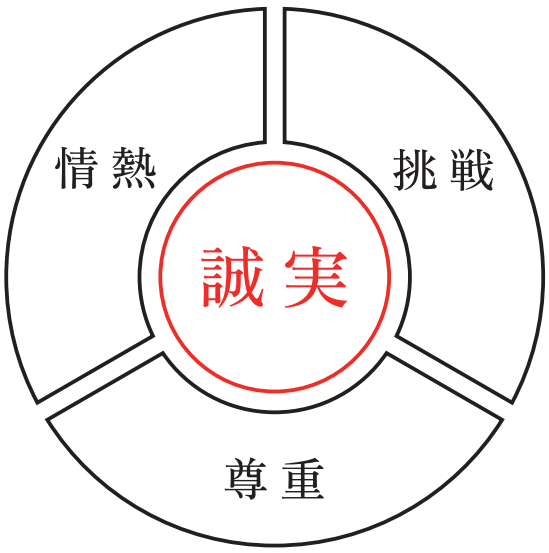
“を。”に続くアクションを、すべての従業員が自発的に考え、行動しよう。

感動を日々積み重ねていくことによって、我々の製品・サービスを未来の文化にしよう。

福助のあるべき姿として、普遍的に変わらない価値観、
企業として提供したいと望む想いが、この企業理念には込められています。

４つの行動指針

我々福助の行動の指針は４つの要素で構成されます。
まずは、人として基本となる「誠実」を円の中心に据え、
企業発展に不可欠な「情熱」「挑戦」「尊重」を円の周りに配しています。



誠実

感謝の気持ちを持って正直に行動し、
お客様の信頼を築いていこう。

情熱

熱い心と誇りを胸に、感動を生み出そう。

挑戦

失敗を恐れず迅速果敢に行動し、未来を切り拓こう。

尊重

互いの個性を認め、本音で語り合い、共に成長しよう。

行動指針のすべてが、「～しよう。」と末尾を統一されているのには理由があります。
従業員同士が確認し合えたり、お互いに励まし合えたりする表現に。
我々の行動のすべては、みんなで協力し合い、励まし合いながら、前に進んでいくのです。

VISION 2020

立ち上がれ! 福助!!

新しいトビラを開けよう。
カギは一人一人の手の中に!

まずは立ち上がって視点を変えよう。
今まで見えなかったものが見えてくるはず。
そこで感じ取った変化を行動に移そう。
みんなの変化が周りの仲間に伝わるから。
立ち上がってみることで、
お客様の、世の中の、注目度も変わるはず。

変化を感じとろう。
注目される存在になろう。
立ち上がる、というアクションは、その先に
歩み始めることに、夢に向かって走り出すことに、
未来を切り拓くことにつながる
大切なアクションだ!

さぁ!立ち上がろう!そして!動き出そう!

会社概要

社名	福助株式会社 / Fukuske Corporation
設立	2000 年（平成 12 年）11 月 24 日【創業 1882 年（明治 15 年)】
本店所在地	〒135-0064　東京都江東区青海 2-4-24 青海フロンティアビル 11 階・12 階
事業所	札幌事業所 / 大阪事業所 / 堺事業所 / 九州事業所
工場	鳥取工場 / 熊本工場
代表電話番号	03-5500-6451
資本金	3 億円
社員数	592 名（2020 年 4 月時点）
株主	豊田通商株式会社
取締役 / 監査役	代表取締役社長　佐橋　由文 取締役　冨多　三也 取締役　三條　毅司 取締役　佐々木　義典 取締役（非常勤）　加留部　淳 取締役（非常勤）　米永　裕史 取締役（非常勤）　坂本　友哉 監査役　中尾　忠 監査役（非常勤）　會田　靖
事業内容	足袋の製造、卸売、小売 靴下、肌着、ストッキングの卸売、小売
主要取引先	百貨店：三越伊勢丹、髙島屋、そごう西武、大丸松坂屋、阪急阪神　他 チェーンストア：しまむら、イトーヨーカドー、イオン　他
主要仕入先	豊田通商㈱、オーアイ工業㈱、吉谷靴下㈱　他
取引銀行	三菱 UFJ 銀行、三井住友銀行
関連会社	四国フクスケ株式会社 〒768-0070　香川県観音寺市南町五丁目 4 番 27 号　代表電話番号　0875-25-2380 福助ロジスティクス株式会社 〒590-0065　大阪府堺市堺区永代町三丁目 1 番 1 号　代表電話番号　072-223-2152 福助 (上海) 商貿有限公司 上海市長寧区遵義路 100 号虹橋南豊城 A2107 室　代表電話番号　+86(21)-6275-1717 上海華鐘ストッキング有限公司 上海市国偉路 135 号 13 号棟 401-405 室　代表電話番号　+86(21)-6095-4808 蘇州華鐘ニット有限公司 江蘇省太倉市陸渡鎮三港村　代表電話番号　+86(512)-5371-8268
直営店舗	福助 ecute 大宮店 fukuske 銀座インズ店・fukuske トリエ京王調布店・fukuske ビナフロント海老名店 fukuske プラーレ松戸店・fukuske ららぽーと名古屋みなとアクルス店 fukuske 心斎橋パルコ店・fukuske 天神地下街店 Fukuske Collage 池袋東武ホープセンター店・Fukuske Collage ウィング久里浜店 Fukuske Collage ASTY 岐阜店・Fukuske Collage ASTY 一宮店 Fukuske Outlet 26 店舗

福助のあゆみ

創業者・辻本福松の生い立ち

文久元年七月二日、大町東三丁の綿糸商、安次郎の四男として出生。
幕府御本丸御用の木綿商で、河内木綿を納めていたそうです。

古老の話によると、兄安七は才気に富み、福松は利発の人であったそうです。
彼は激動の明治時代、家庭的には父母の愛に恵まれ、兄の指導のもとにすくすくと成長しました。子どものころは、読み書きそろばん、四書五経の素読などにも勤しみましたが、何といっても大きかったのは、父母、兄弟の姿にみる商人道の習得でした。上方商法の三法、“始末する、算用する、才覚する”を、砂地が水を吸い込むように体得していきました。

そのころの商店には、丁稚（でっち）、手代、番頭の階層があり、丁稚は彼と同年輩くらいの少年たちでした。厳寒のころともなると、番頭は羽織、足袋、雪駄ばき、ふところ手で出かけます。お供の丁稚は、自分の体よりも大きな商品見本の箱を風呂敷で背負い、素足にわらじ履き。その足はアカギレでひび割れていました。丁稚が手代になるのには数年かかります。丁稚たちは一日も早く、足袋のはける手代になろうと努力し、つらさに耐えました。この忍耐努力が、堺商人の根性を培っていったのです。後年福松が、すべての人に丈夫で安い足袋をと考えた原点は、こうした実状を見、かつ経験したことにあったのでしょう。

当時、商人に学問は不要、商いの邪魔になるというのが通念でしたが、福松は親の理解もあり、向学心もあって、寺子屋に通うことができました。そのとき聞いた論語の中の言葉、「我道は一以て之を貫く」に大きな感動を覚えましたが、これは生涯を通じて福松の生き方の指針となりました。孔子のいう一は仁でしたが、彼はそれを「まこと」と解し、足袋に生かしていったのです。

堺と福松

福松は自分が生まれ育った堺が好きでした。また、昔の堺、堺商人の話を好んで聞きました。
十六世紀のはじめ、堺は東洋のベニスと呼ばれ、戦国の世に二百五十年の平和を保ち、日本一の貿易港として栄えました。

堺の豪商たちの特質は、多種の商品を扱い、為政者と親交があり、海外に常に目を向けていたことです。そのころ堺の町に「何しようぞ、くすんで。一期は夢ぞ、ただ狂え」という歌が流行しました。限りある人生、引き込み思案はすてて、ひたすら積極果敢に行動しようとの意です。堺商人の気迫と意気込みで、これは江州商人、伊勢商人に代表される上方商人の気質とは異質のものでした。

その後、豊臣秀吉は天下を統一して大阪に築城、堺商人を浪華の津（大阪港）に移住させ、堺の堀を埋め、自由都市堺に大きな影響を与えました。さらに大阪夏の陣には堺も戦場となり、焼野原となりました。納屋衆呂宗助左衛門等は、「町は焼けても、堺にはまだ海がある」と船を造り、貿易をおこして復興させました。

こうした話を聞くにつけ、当時の堺をみて、「われ、堺の納屋衆たらん、堺を黄金の日日にかえさん」と、大きな夢に胸をふくらませていました。

辻本福松、足袋装束商創業

堺区大町東三丁四十一番地に、紺地に白く丸福と染めぬいた暖簾を掛けて五間間口の足袋装束卸問屋が生まれました。明治十五年一月中旬のことです。

店主は辻本福松、商標はその名にちなんで丸福。当時二十一歳、角帯に紺前垂れ姿かいがいしく、手代、丁稚とともに忙しく立ち働いていました。

福松のほおは希望に燃え、眸は洋々たる前途を見つめて輝いていました。少年時代からの夢“堺の納屋衆たらん、堺に昔日の黄金の日日を取り戻さん”その実現への第一歩であり、彼は、これが私の進むべき道だと、深く決心するのでした。

福松は、兄安七の友人河盛足袋装束店の後を、残品全部とともに引き受け、およそ二千円の資本で開業したのです。

独立してすぐに大澤徳右衛門の二女まつと結婚。福松の精進は始まりました。店売り、得意先回り、仕入れと、まだ夜の明けきらないうちから出かけ、晩には星をいただいて帰る毎日でした。

沿革

明治 15 年（1882 年）

足袋装束店として「丸福」を創業

大正 8 年（1919 年）

『福助足袋株式会社』設立

昭和 11 年（1936 年）

婦人用絹ストッキング製造開始

昭和 57 年（1982 年）

創業 100 周年を迎える

平成 15 年（2003 年）

本社機能を東京都渋谷区へ移転
新生福助株式会社として事業をスタート
現 CI ロゴを新たに制定

平成 26 年（2014 年）

パンティストッキング『満足』が
リニューアル

平成 29 年（2017 年）

「人に、すべての満足を。」をコンセプトに、
身に付けることで快適さと心の満足を提供
するレッグ・インナーウエアブランド
として『満足』がリニューアル

令和 2 年（2020 年）

新 CI ロゴを制定
『満足』が “Hello! びっくりの心地よさ。”
をキャッチコピーにリニューアル

明治 33 年（1900 年）

「福助」を商標として登録

昭和 7 年（1932 年）

取り扱い商品の拡大
（靴下、シャツ、シューズなど）
足袋に限らず、幅広いアイテムの
展開を開始

昭和 39 年（1964 年）

社名を「福助株式会社」に変更

平成 3 年（1991 年）

女性の脚をより美しく魅せる
パンティストッキング『満足』を発売し、
好評を得る

平成 25 年（2013 年）

豊田通商株式会社の連結子会社となる

平成 27 年（2015 年）

モノづくり精神と技術力を集結させた
『福助』が紳士靴下ブランドとして登場

福助株式会社、KB フクスケ株式会社、
ユニチカバークシャー株式会社の 3 社が統合

平成 30 年（2018 年）

「くらしを変える、一足を。」を
コンセプトに、ライフスタイル提案型
ブランドとして社名を冠するブランド
『fukuske』がリニューアル

ブランド紹介

福助 fukuske since 1882

“くらしを変える、一足を。”をコンセプトとしたライフスタイル提案型ブランド。レッグウエアを価格だけで選ぶのではなく、本当に良いものを選んでほしいという想いのもと、見た目の美しさや、はいた時の心地よさなど細部にまでこだわった商品を展開しています。

満足

“Hello! びっくりの心地よさ。”をキャッチコピーに、毎日をがんばっている女性とその脚をいちばん応援する、ストッキングが主力のブランド。

1991 年にデビューして以来、お客様の日常生活のお悩みを解決するストッキングや靴下、インナーを展開しています。

ブランド紹介

FRANTICA by FUKUSKE

トレンドを自分らしく取り入れるのが上手な女性に
向けたカジュアルコーディネートにも合わせやすい
レッグ＆ユーティリティウエアが揃うブランド。

福助足袋

「より良い足袋を、より多くのお客様に」をモットーに、
創業以来、数々の革新的な試みで足袋業界をリードしてきた
確かな伝統と品質のある、福助の代表ブランド。

様々な人の足に合う「型」を各種取り揃え、お客様ひとり
ひとりにご満足いただける一足をお選びいただけるように、
これからも『福助足袋』はまごころと感謝をこめて皆さまに
愛される足袋づくりを進めてまいります。

ライセンスブランド

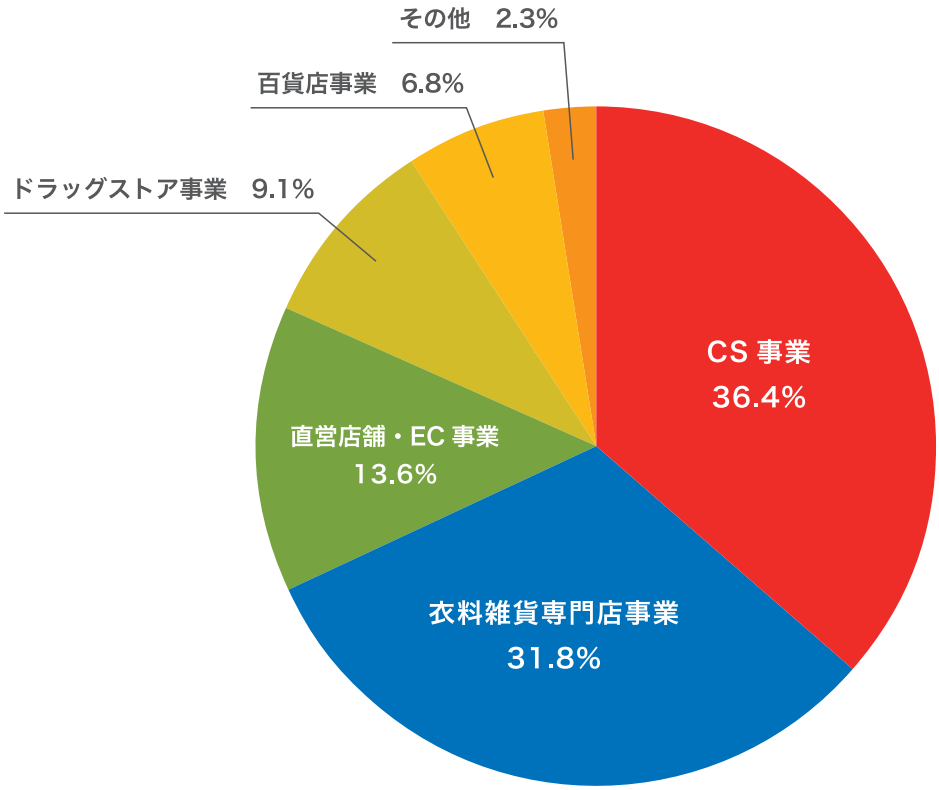
※アルファベット順

adidas
Admiral
agnès b.
Brooks Brothers
Coca-Cola
CONVERSE
Disney
HANAE MORI
MACKINTOSH PHILOSOPHY
mila schön milano
TOROY.
Vivienne Westwood ACCESSORIES

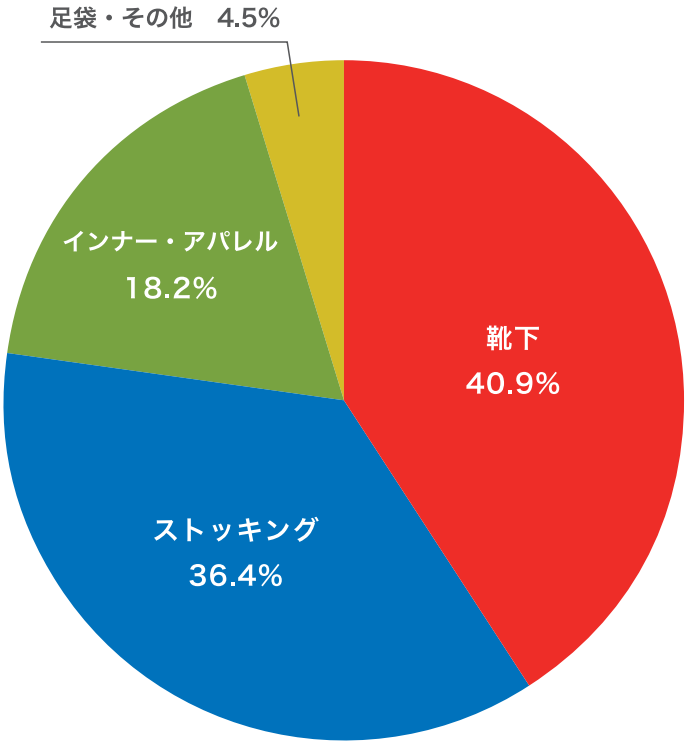
他多数展開しています。

※「アニエス・ベー」は 2020 年秋冬から展開

福助について



2019 年度　販売取引先チャネル別の売上構成比



2019 年度　取り扱いアイテム別の売上構成比

※2019 年度 実績

その他の取り組み

2019 年 10 月　初めての試みである企業展示会を開催

「Make Change Happen! ～変化を起こそう！～」のテーマのもと、渋谷ストリームホールにおいて企業展示会を開催しました。2020 年春夏の新商品のみならず、過去から現在の当社の歴史、そして未来へ向け革新を遂げる企業となるべく、より一層こだわりの詰まった商品やサービスを様々な形でご覧いただきました。

2020 年 3 月・4 月　21 年振りとなる『満足』CM 放映

2020 年春夏のリニューアルを記念し、『誰かのために我慢してはくのではなく、自分のために、はきごこちでストッキングを選ぶ。』をテーマにした CM を全国放映しました。楽曲は松任谷由実（荒井由実）さんの「ルージュの伝言」を使用し、幅広い世代の女性からの好意・共感を得ることができました。

2020 年 4 月　新たな企業姿勢を示す企業広告を新聞に掲載

2020 年 1 月の CI ロゴ刷新を受けて、100 年後の未来を見据え、変化や先進性とともに新しい提案を考え続けていくという企業姿勢を広く伝えるべく、企業広告を読売新聞に掲載しました。

メディカル事業の取り組み

堺市・渋谷区と、災害時における弾性ストッキングの提供協力に関する協定を締結

2019 年 8 月に堺市、2019 年 11 月には渋谷区と、災害時における弾性ストッキングの提供協力に関する協定を締結しました。災害発生時に避難所への迅速な弾性ストッキング提供を可能にすることで、災害関連死の主因であるエコノミークラス症候群の予防に寄与し、安全で快適な避難所環境の確保につなげます。

世界最大の医療機器の商談会である『MEDICA2019 国際医療機器展』に出展

ドイツ・デュッセルドルフにて開催した『MEDICA2019 国際医療機器展』に出展し、医療用着圧ストッキングを中心に、機能だけでなくメイドインジャパンによる快適性やファッション性にも富んだ商品を出品しました。

福助グループを支える行動倫理規範

当社は、豊田通商グループの制定するグローバル行動倫理規範 (Global Code of Conduct & Ethics/COCE) を、
福助グループの社員一人ひとりが理解し、実践していくことで、
企業理念である「心とカラダに『福』を。～今日の感動を未来の文化へ～」の実現を目指しています。

グローバル行動倫理規範（COCE）

私たちは、安全衛生活動に全力を傾け、安全で健康的な職場環境をつくります。

私たちは、反汚職、独占禁止及び国際取引に係る法令を含む全ての適用法令を遵守します。

私たちは、正確な財務情報を開示します。

私たちは、全ての社内規定遵守に責任を負います。

私たちは、誠実、正直、公明正大、公正透明に企業活動を行い、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持、発展させます。

私たちは、持続可能な社会の発展に貢献します。

私たちは、環境に配慮した企業活動を追求、促進します。

私たちは、創造と弛まぬ改善により付加価値を提供します。

私たちは、人権を尊重します。

私たちは、社内及び社会における多様性を尊重して受け入れ、違いを活かす“ダイバーシティ＆インクルージョン”に積極的に取り組みます。

具体的な取り組みの事例

環境保全

社名を冠するカジュアルラインブランド『fukuske FUN』は、2019 年秋冬シーズンより、環境省が主催する「プラスチック・スマート」キャンペーンにレッグ・インナーウエア業界で初めて参加しました。靴下アイテムの資材に、紙や糸、植物性インク等を用いることでプラスチックの削減に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

メイドインジャパンの丁寧なものづくりにこだわる『fukuske』は、2019 年秋冬シーズンより、“すべて天然で土に還る”をテーマに、天然素材のみを用いた靴下を展開しています。
天然素材の使用のみならず、素材本来の色をそのまま活かした無染色の糸の使用、つま先の縫製をシルクで仕上げるなど、とことん細部にまでこだわった、履く人にも環境にもやさしい靴下です。

被災地支援

東日本大震災による被災地復興への応援活動を行う市民活動グループ「LO&PE365（ロープサンロクゴ）」に、2011 年より当社の靴下を提供しています。これらの靴下は、LO&PE365 の皆さんの手を経て「くつしたモンキー」へと生まれ変わり、被災地の皆さんに笑顔をお届けしています。

2017 年には、大規模自然災害発生時に、物資・サービス等の支援をワンストップで提供する日本初の民間主導による緊急災害対応アライアンス「SEMA」に加盟しました。子供から大人までのソックスやインナーをはじめ、弾性ストッキングなどの提供を通し、被災地支援を行います。

さらに、災害時におけるエコノミークラス症候群等の血栓症予防対策の観点から、「弾性ストッキング」の防災備蓄に対する推進活動と、災害被災地に迅速かつ円滑な「弾性ストッキング」の供給活動を行うことを目的とした「災害用弾性ストッキング協会」を発足しました。

安全衛生

鳥取県の労働局管轄の事業所及び団体において積極的に安全衛生活動に取り組んでいる事業所として、平成 30 年度 鳥取労働局長賞優良賞を福助 鳥取工場が受賞しました。
過去 3 年間労働安全衛生関連の重大な法違反がないなどの基本的事項に加え、労働者の健康保持増進対策、メンタルヘルス対策、過重労働防止対策、安全衛生管理など、幅広い分野で積極的な取組を行っていることという基準の中で、特に安全衛生に関わる取り組みが優秀であると認められて受賞となりました。